

# 光合成産物の動態とそれに基づく環境制御 受講者募集

【特定非営利活動法人植物工場研究会・千葉大学 主催、一般社団法人日本施設園芸協会 共催】

## ご 案 内

千葉大学環境健康フィールド科学センターでは、下記の要領で2017年度の研修を実施いたしますのでご応募ください。

## 講 座 の 狙 い

- 植物工場での栽培にとって「光合成」を知る事がいかに重要であるかを知る
- 「光合成・転流」に関する研究成果の理論と応用法を知る
- 生産現場においてどのようなすれば「光合成・転流」を最大にできるかを知る

## 募 集 要 項

開講期間 : 2017年9月5日(火)～9月6日(水) (別紙スケジュール参照)

受講場所 : 千葉大学環境健康フィールド科学センター 植物工場研修棟A棟1階 研修室

講師 : 穴戸 良洋(元 農研機構 野菜茶業研究所)  
齊藤 章(株式会社誠和。)

受講費用 : 一般 28,000円/人 植物工場研究会会員 22,000円/人 (消費税、教材費等込)

募集人数 : 30名

募集期間 : 7月25日(火)～8月31日(木) \*定員に達し次第締切

講座責任者: 篠原 温 (千葉大学 名誉教授)・塚越 覚 (千葉大学 准教授)

応募方法 : 受講申込書に必要事項をご記入の上、E-mail またはFAXにてお申込みください。

受講確定 : 申込書先着順に「内定通知」のご連絡をさせていただきます。

受講料は「内定通知」に記載の手順で振込期限内にお振込みください。

お振込み確認後に受講確定となり「受講確定」のご連絡をさせていただきます。

なお、一度納入された受講料は返還できませんので予めご了承ください。

受講対象 : 植物工場事業に興味を持ち、真剣に事業参入を考えている生産者、個人、企業の方。

さらに、現在植物工場栽培に従事している技術者で生産性を高める基礎的技術の習得に最適。

## 開 講 期 間

2017年9月5日(火)～9月6日(水) 計2日間 初日9:45受付開始

	8:50～	10:30～12:00	12:00～13:00	13:00～14:30	14:40～16:10	～16:50
9月5日	開講式(10:15～)	講義	昼休み	講義	講義	質疑 応答
9月6日	講義	講義	昼休み	講義	質疑 応答	修了式

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性があります。詳細は講義初日に配布いたします。

## 申 込 ・ 問 合 せ 先

国立大学法人千葉大学環境健康フィールド科学センター内  
特定非営利活動法人植物工場研究会  
〒277-0882 千葉県柏市柏の葉6丁目2番1号  
TEL: 04-7137-8312 FAX:04-7137-8312  
URL: <http://www.fc.chiba-u.jp/plant-factory/>  
E-mail: [plant-factory@office.chiba-u.jp](mailto:plant-factory@office.chiba-u.jp)



穴戸良洋氏著書

齊藤章氏著書



太陽光型植物工場

# 2017年度植物工場

## 光合成産物の動態とそれに基づく環境制御

		I (8:50~10:20)	II (10:30~12:00)	昼休	III (13:00~14:30)	IV(14:40~16:10)	V(16:20~16:50)
9/5	火		<b>基礎知識と環境要因の影響</b>		<b>生育ステージ・生理生態との関係</b>	<b>定量的解析法</b>	<b>質疑応答</b>
		受付:9:45~ 開講式:10:15~ 理事長挨拶 受講案内	光合成産物の転流・分配に関する基礎と定義を解説し、各種環境要因の光合成産物の転流・分配におよぼす影響を解析する		光合成産物の転流・分配におよぼす生育ステージや生理生態の変化が及ぼす影響を明らかにし、栽培管理法への基礎的知見を学ぶ	光合成産物の転流・分配の種々の解析における生理的解析に加えて、実際の物質生産性を解析できるステディ・ステート・フィーディング法によって光合成産物の定量解析と呼吸の評価を行う	
		NPO植物工場研究会 古在豊樹	元野菜・茶業研究所 宍戸良洋		元野菜・茶業研究所 宍戸良洋	元野菜・茶業研究所 宍戸良洋	宍戸 良洋
		I (8:50~10:20)	II (10:30~12:00)	昼休	III (13:00~14:30)	IV(14:40~15:10)	
9/6	水	<b>環境要因による転流制御</b>	<b>栽培管理による転流制御</b>		<b>生育制御</b>	<b>質疑応答</b>	<b>修了式</b>
		環境制御において、温度管理での実践的な転流制御の基礎的概念について解説する。	トマトを中心に、着果数や摘葉、分枝など実践的な栽培管理により果実への転流量を最適化する方法を解説する		転流を理解することでの実践的な栄養成長と生殖成長の制御、収量と品質を最大化する管理方法について解説する。		16:20~(16:50) 修了証授与
		誠和 斉藤章	誠和 斉藤章		誠和 斉藤章	誠和 斉藤章	

※講義の課題や日程、講師等の詳細スケジュールは今後多少変更の可能性があります。詳細は講義初日に配布いたします